

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県武雄市武雄町大字武雄 7255
団 体 名 特定非営利活動法人
スチューデント・サポート・フェイス
代表者職 代表理事
氏名 谷口 仁史
電話番号 (0954) 22-3423

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

令和4年2月6日付け県協第2143号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	夜間を中心としたコロナ禍における相談及び連携体制の強化
寄附受入額	1,745,100円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	<p>2021年に設置された「孤独・孤立対策担当室」に象徴されるように、近年、日本において社会的孤立に係る問題が深刻化している。OECDが実施した「社会的孤立の状況」に関する調査では、日本は家族以外の人との交流がほとんどない者の割合が先進国の中で最も高く、ユニセフが実施した調査によると「孤独を感じている子ども(15歳)」の割合も、調査対象国の中で日本は最も高く、2位のアイスランドの3倍に及ぶなど、その割合も群を抜いている。まさに「孤立大国ニッポン」と揶揄される窮状が現実のものとなっている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛等様々な制約は、この窮状をさらに深刻化させることとなった。休業や倒産、雇止めや派遣切り等が相次ぐ中、経済的に行き詰まる困窮者が激増した他、過大なストレスの中、家庭で過ごす時間が増えたことで虐待、DV等が過去最多を更新、自殺者数も2万1081人と11年ぶりに増加に転じた。とりわけ深刻なのが女性と子どもの自殺で、小・中・高校、児童生徒の自殺者数は過去最多を更新している。</p> <p>申請団体である「認定特定非営利活動法人 スチューデント・サポート・フェイス(以下、「S.S.F.」と略記。))は、家庭教師方式のアウトリーチ(訪問支援)ノウハウと重層的な支援ネットワークをバックボーンに、孤立する子ども・若者を対象に寄り添い、社会参加・自立までの「伴走型」支援を実践している。「声なきSOS」を受け止める、深刻化を遂げる「社会的孤立」に係る諸問題への対応には、S.S.F.が実践するアウトリーチを基軸とした「伴走型」の支援活動は、不可欠なものとなる。</p> <p>本事業においては、コロナ禍で加速度的に深刻化を遂げている「社会的孤立」に係る問題に焦点を絞りつつ、虐待、DV等の家族問題の発生、自殺企図等の相談が集中する夜間の相談体制と関係機関との連携を強化することで、極限の状態に追い込まれている子ども・若者の「命」を守り、「未来」を守り抜く。</p> <p>1. 事業名：夜間を中心としたコロナ禍における相談及び連携体制の強化 期間：2020年4月～2022年3月 場所：佐賀市を拠点に県全域 対象：社会的に孤立する子ども・若者、その保護者等家族及び関係者 内容：官民間問わず多くの相談窓口が閉所している夜間、休日の相談体制を強化すると共に、警察や医療機関、ACTや子どもシェルター等夜間、休日対応を行う関係機関との連携強化を図ることで、自傷他害のリスクを抱える子ども・若者の命を守る相談活動を展開した。</p>
事業実施の成果・効果(見込み)	

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

最もリスクが高く相談ニーズが集中する夜間や休日における相談体制が強化されたこと
によって、コロナ禍で深刻化した貧困、虐待、DV、精神疾患、自殺等の諸問題の早期発見、
早期対応が可能となり、過去最多 81,027 件の相談対応を実施することができた。また、関
係機関との連携が強化されたことにより、関連窓口の相談実績が向上した他、県全域での
相談体制の強化にもつながり、今後、自殺者数等関連指標の改善が見込まれる。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		夜間を中心としたコロナ禍における相談及び連携体制の強化	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,745,100	第4回交付：1,745,100円
		収入計	1,745,100
支 出	人件費	1,321,375	
	返礼品等の調達に係る費用	214,890	R3年
		15,130	R4年1月分
	返礼品等の送付に係る費用	42,590	R3年 (INDIGO、ライフ ^o 、しめなわ)
		4,960	R4年1月分
	事務に係る費用	140,655	R3～R4年1月分まで (佐賀SBC、振り込み手数料、しめなわ契約印紙代)
	固定IPにかかる費用	5,500	
	広報に係る費用	0	
	支出計	1,745,100	

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。